

教育は今

No.6

「全国学力・学習状況調査」

結果の活用で、指導や施策の改善を図る

学力テストの目的

「全国学力・学習状況調査」は、児童・生徒の学力低下が指摘される中、文部科学省が学力水準の状況を把握する目的で、国・公・私立の小学校6年生と中学校3年生のすべての児童・生徒を対象に（愛知県犬山市は不参加、私立校の約4割は参加を見送る）平成19年から実施しています。

文部科学省は、本年も4月に実施し、8月29日、その結果を発表し、全国の教育委員会と小・中学校に送付しました。

現在、この「全国学力・学習状況調査」（以下「学力テスト」）の結果の公表をめぐって、全国の自治体で賛否両論があり、さまざまな波紋を投げ掛けています。

学力テストの結果の活用

光市では、本年度「学校評価」を全学校で実施し、その結果を公表することになっています。

この「学校評価」および「学力テスト」の結果を併せて、総合的に自己分析し、具体的な指導の改善に活用していくことにしており、既に各学校は、自校の「学力向上プラン」に基づいた実践を進めているところではあります。

学力の底上げを図るのに効果のある家庭学習について、各地でさまざまな取り組みが行われています。

日本の児童・生徒の家庭学習の時間は、諸外国と比較して少ないという調査結果があります。

この家庭学習時間を増加させるとともに、授業内容と関連させて調べたり、発展的に考えたりできる宿題を与えることも学力向上のために有効な方法です。

いずれにしても、学校での学習活動の充実と家庭での学習の習慣化が学力テストの結果に即応した、身近な改善策の一つといえます。

特色ある学校づくり



市内小中学校の「特色ある活動」風景をご紹介します。今回は、浅江中学校と島田中学校です。お楽しみに！

むろつみ 室積小学校

児童数428人



野外体験サマースクールでは、グループで協力しながら、ふるさと室積を再発見しました。

やまぐちたいがきょういっかくがくせいのひかり 山口大学教育学部附属光小学校 児童数427人



附小祭では、クラスごとにお店を出し、地域の方々や保護者をお招きしました。